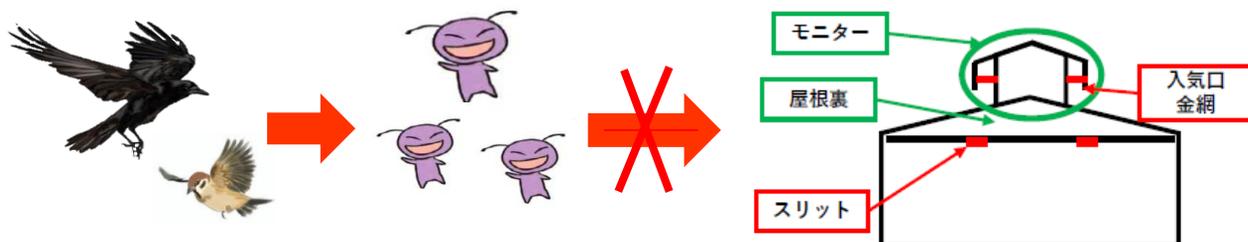


鶏舎の入気口に野鳥を近づけないで！

令和4年12月15日、三沢市の大規模養鶏場で鳥インフルエンザが発生し、致死率の高い高病原性のH5N1によるものと確認されました。

今シーズンは、令和5年1月11日時点で国内で58事例の発生があり、過去最多となりました。全国的に環境中のウイルス濃度が非常に高まっているので、厳重な警戒を続けてください。これまでの発生の中には、モニターに設置された金網等に破れや穴があり、屋根裏に野鳥が侵入した形跡を認めた事例がありました。家きんを飼養している皆様は、モニターを含めた鶏舎の入気口に野鳥を近づけない対策を強化してください。

- ✓天井、床、壁の穴、モニターを含め鶏舎の入気口の金網・防鳥ネット等をこまめに点検
- ✓普段目が届きにくいモニター部分と屋根裏には特に注意
- ✓破れや穴を見つけたら速やかに補修



高病原性鳥インフルエンザの特定症状を呈している家きんを発見した場合は、直ちに十和田家畜保健衛生所に連絡してください！

十和田家畜保健衛生所

電話 0176-23-6235(平日) 携帯 090-6453-7023(休日・夜間)

ホームページ

十和田家畜保健衛生所

検索